

漱石・八雲・細川家・武蔵コース

◎ 五高教師（現在の熊本大学） 「夏目漱石」コース	約200分	夏目漱石旧居と教壇にたった「五高記念館」（熊本大学）を尋ねます。
◎ 五高教師（現在の熊本大学） 「小泉八雲」コース	約120分	小泉八雲旧居と教壇にたった「五高記念館」（熊本大学）を尋ねます。
◎ 加藤家改易後の肥後藩主 「細川家」コース	約200分	熊本城をはさんで、鬼門と裏鬼門の位置にある二つの菩提寺北岡自然公園（妙解寺跡）と立田自然公園（泰勝寺跡）を中心に細川家の墓所をまわります。
◎ 細川忠利肥後初代藩主の客人 「宮本武蔵」コース	約360分	武蔵が籠って「五輪書」を執筆した「霊巖洞」、遺品・肖像画が展示されている「島田美術館」、藩主の参勤交代を見守りたい意向に基く墓所「武蔵塚公園」などを尋ねます。

北岡自然公園内肥後藩主細川家墓所「妙解寺跡」



小泉八雲が最初の1年を過ごした「小泉八雲熊本旧居」



夏目漱石5番目の家「夏目漱石内坪井旧居」



上熊本駅前に建つ夏目漱石の像



霊巖洞



武蔵塚公園



第五高等学校

1887(明治20)年に全国で五校設立された旧制高等学校の一つ。1894(明治27)年に高等学校に改称。()内は現在の後身校。
第一高等学校(東京大・千葉大)
第二高等学校(東北大)
第三高等学校(京都大・岡山大)
第四高等学校(金沢大)
第五高等学校(熊本大学)
です。戦後、新制大学に包括され、1950(昭和25)年3月卒業生を送りだしたのち廃校となる。第五高等学校の卒業生は東京帝国大学への進学者が多く、後世日本・世界を代表する政治家、財界人が活躍する教育の場となりました。
後身校である現在の熊本大学の若い学生さん達もグローバル化に対応出来る人財が育っていることは喜ばしいことです。先駆の伝統をしっかりと胸に刻み世界に羽ばたく大学として飛躍してほしいものです。

第五高等学校教師として活躍

◎小泉八雲

(ラフカディオ・ハーン)

前任地 松江(1年間在住)の後

1891(明治24)年11月～

1894(明治27)年10月

の約3年間

英語の教師として来熊

墓: 雑司ヶ谷霊園(東京、南池袋)

◎夏目漱石

前任地 松山(1年間在住)の後

1896(明治29)年4月～

1900(明治33)年7月

の4年3ヶ月

英語の教師として来熊

墓: 雑司ヶ谷霊園(東京、南池袋)

五高教師(現在の熊本大学)

●「夏目漱石」コース【1/2】

[新幹線] ↑ 新玉名・新大阪方面

[JR在来線] ↑ 玉名・荒尾方面



夏目漱石

1867(慶応3)年に東京生まれ。1893(明治26)年東京大学英文科卒。熊本には1896(明治29)年、29歳の時に第五高等学校講師として赴任。6月熊本にて結婚。7月に教授となる。1900(明治33)年7月帰京(文部省から英語研究の二年の英国留学を命じられたため)。1903(明治36)年帰国。2男5女(熊本では1人)と子どもに恵まれるも病氣と闘いながら活動。1916(大正5)年病死。49歳。

詳細を【40/52】に示します。

前任地の松山では松山中学校教師として1年間教鞭をとっていましたが、熊本の第五高等学校教授で親友の菅虎雄に「五高で使ってくれ」と手紙を出しました。願叶って

1896(明治29)年4月13日に第五高等学校(現在の熊本大学)の教師として上熊本駅に降りました。人力車にのり、京町の新坂から、眼下に広がる街並みを見て「熊本は森の都だ」と言ったそうです。通った坂は「漱石の道」と呼ばれています。
上熊本駅の通りを挟んでバス停の横に夏目漱石の銅像があります。



[新幹線] ↓ 新八代・新水俣方面 [JR在来線] ↓ 宇土・八代方面

他の観光も合わせてみて回りたい方にご紹介

内は凡その時間です。

- | | | |
|-----------------------------------|------|-------------------|
| (B) ◎文教の都を実感！
「五高記念館」熊本大学周辺コース | 120分 | ページ[29/52][30/52] |
| (C) ◎文学の都を実感！
江津湖畔文学碑コース | 120分 | ページ[27/52][28/52] |
| (D) ◎古都を実感！
「夏目漱石旧居」坪井コース | 120分 | ページ[16/52][17/52] |
| (E) ◎水の潤いを実感する街！
「水前寺」界限コース | 120分 | ページ[25/52][26/52] |

熊本時代

1896(明治29)年4月～1900(明治33)年7月

- 願が叶い、五高では英語科教授として比較的平穏な学生生活を送りました。(熊本大学)五高記念館を見学すると充実さが伝わります。構内にある句碑「秋はふみ 吾に天下の 志」
- 結婚生活スタートも熊本で、長女筆子が誕生し、親となりました。夫婦の深い絆も育みました。
- <漱石と言えば俳句！>生涯で約2,500句を詠みましたが、熊本では実に約40%の約1,000句を詠みました。熊本市内外の随所に句碑のスポット(熊本市中心街では地図中★の箇所)があります。
- 熊本生活は満足していた様で、1900(明治33)年に英国留学の辞令の命が出てから帰京しています。

⑦五高記念館 (熊本大学)

1889(明治22)年完成。旧制第五高等学校の本館。この校舎で夏目漱石ら著名な教授達が教鞭をとりました。また総理大臣となった池田勇人・佐藤栄作氏のお二人のほか有為な人財がこの舎で学び青春時代を過ごしました。本館は二階建て、展示品として五高の歴代校長、教授(漱石の教員時代も含む)、著名な卒業生、学生生活の模様など貴重な遺産が紹介されています。

●記念館の南東側には夏目漱石像と顕彰碑もあります。



開館時間 10時～16時
入館料 無料
休館日 火曜、年末年始、その他
※事前に電話確認下さい。
電話 096-342-2050

五高教師(現在の熊本大学) 「夏目漱石」コース●【2/2】

漱石は熊本で4年3ヶ月の間に6回転居しています。見学は①→③→⑤と⑦(熊本大学)五高記念館が現実的です。移動は車(タクシー)で約15分程度です。

⑥北千反畑の家 (中央区北千反畑町) (明治33年3月～明治33年7月)

現存。外観のみ見学可です。
熊本最後の家です。英国留学の辞令を受け、3ヶ月余りで帰京します。
※明治33年9月には横浜から出航しました。



⑤内坪井旧居 (中央区内坪井町) (明治31年7月～明治33年3月)

●現存し、内外とも見学可です。
夫人が一番気に入った家でした。1899(明治32)年5月に長女筆子が誕生しました。漱石32歳の時でした。筆子の産湯として使った井戸や句碑2つもあります。資料が多数展示されています。
開館時間 9時30分～16時30分
入館料 高校生以上200円 小・中学生100円
休館日 月曜(祝日の場合は翌日) 年末年始
電話 096-325-9127

「筆子」産湯の井戸



④井川淵の家 (中央区井川淵町) (明治31年4月～明治31年7月)

現存しません
鏡子夫人が近くの白川に投身自殺をしようとしたところから、3ヶ月で内坪井の家に引越しました。その後、漱石は夫人の手首と自分の手を繋いで寝たそうです。これを機に夫婦の絆が芽生えた事件とも思われます。寺田寅彦が初めて訪問。

③大江村の家 (中央区新屋敷) (明治30年9月～明治31年4月)



●現存し、内外とも見学可です。
水前寺成趣園の東側に移設されています。地図はページ【26/52】を参照下さい。
気に入っていた家の様ですが、家主が帰熊した為、やむなく④井川淵の家に転居することになります。漢詩碑があります。
1897(明治30)年の大晦日に山川信次郎と小天温泉に出かけたのはこの家からでした。小説「草枕」の素材となりました。また「我が輩は猫である」のモデルである五高生・股野義郎を書生としておいたのもこの家です。

①光琳寺の家 (中央区下通) (明治29年6月～明治29年9月)

レリーフは見学可。現存しません
通町筋電停から徒歩約5分のホテルタウ熊本(旧ホテルサンルート)のフロント前にレリーフがあります。鏡子夫人と、この家で結婚式を挙げました。総勢6名の簡易な結婚式でした。



拡大

②合羽町の家 (中央区坪井) (明治29年9月～明治30年9月)

現存しません
新築で部屋数が多く、同僚らが下宿しており、人の出入りが多い家だった様です。また、13円の家賃は当時100円の俸給の漱石には痛かったと思われます。1911(明治44)年開業の熊本電鉄は当時まだ走っていませんでした。



③五高記念館（熊本大学）

1889(明治22)年完成。旧制第五高等学校の本館。この校舎で夏目漱石ら著名な教授達が教鞭をとりました。また総理大臣となった池田勇人・佐藤栄作氏のお二人のほか有為な人財がこの舎で学び青春時代を過ごしました。本館は二階建て、展示品として五高の歴代校長、教授（漱石の教員時代も含む）、著名な卒業生、学生生活の模様など貴重な遺産が紹介されています。

八雲関係では夫婦の写真（理由のある横向きです）や学校との契約書などが展示されています。

●記念館の南西側にはレリーフがあります。



開館時間 10時～16時
入館料 無料
休館日 火曜、年末年始、その他
※事前に電話確認下さい。
電話 096-342-2050

①小泉八雲旧居

（明治24年11月25日から約1年間居住）

●現存します。

中心街、通町筋電停から徒歩約3分、鶴屋百貨店の裏通りにあります。最初の一年を過ごした旧居です。元々鶴屋百貨店の北東の角地にありましたが、1961(昭和36)年に現在地に移転し保存され、平成7年5月「解体復原工事」が完成、落成式が行われ今日に至っています。

八雲が入居に際し造らせた「日本式の神棚」や「鶴の釘隠し」は確認しましょう。八雲の月給は200円で、この家の家賃は11円だったそうです。八雲の写真や資料が多く展示されています。熊本の八雲を知るお勧め処です。

五高教師（現在の熊本大学）

「小泉八雲」コース ● 【2/2】

八雲は熊本で約3年の間に2回転居しています。見学は①→②と③(熊本大学)五高記念館です。移動は車(タクシー)で約10分程度です。尚、漱石の見学箇所と比べ八雲は少ないので、漱石、特に「夏目漱石内坪井の家」を合せ見学されることをお勧めします。

八雲お気に入りの「鼻かけ 地藏」(石仏)



熊本大学の裏の小峯墓地には古くから鼻がかけられているお地藏さんがいます。八雲はこの「鼻かけ地藏」が気に入って、小峯墓地によく行っていたそうです。

熊本電鉄



夏目漱石内坪井旧居（中央区内坪井町）

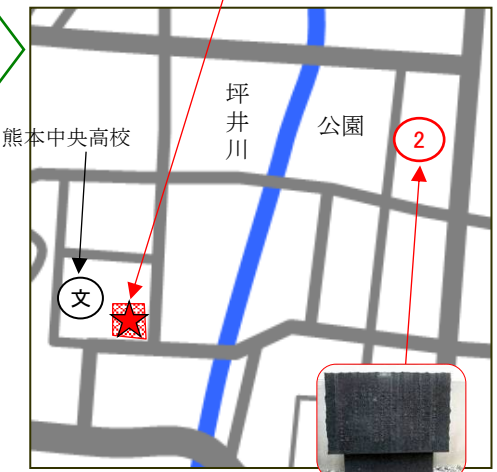
（明治31年7月～明治33年3月）

●現存します。内外とも見学出来ます。

夫人が一番気に入った家でした。1899(明治32)年5月に長女筆子が誕生しました。漱石32歳の時でした。筆子の産湯として使った井戸や句碑2つもあります。資料は多数展示されています。

開館時間 9時30分～16時30分
入館料 高校生以上200円 小・中学生100円
休館日 月曜(祝日の場合は翌日)
電話 096-325-9127

「筆子」産湯の井戸



開館時間 9時30分～16時30分

休館日 月曜(祝日時は火曜)、年末年始
入館料 高校生以上200円、小・中学生100円
電話 096-354-7842



西南戦争の翌年1878(明治11)年に古材で建築された武家様式の家です。鴨居の低さなど当時の形を残した家としても見所です。

②小泉八雲旧居跡（八雲が親となった場所です）

現存しません。説明板のみです

会社の敷地の一角に説明板があり、小さく黒い説明板ゆえ見落とさない様にご注意下さい。第二旧居跡です。現在は会社の敷地の一角で、説明板しかありません。

1893(明治26)年11月長男一雄が誕生した家です。一雄が一歳になる前の1894(明治27)年10月に外国人居留地のある神戸へ転職の為に熊本を離れました。

★近くの夏目漱石「内坪井の家」は現存し、内外とも見学出来、見所「いっぱい」のこちらもお勧めします。

肥後藩主細川家

1632(寛永9)年6月二代目の加藤忠廣公は改易させられました。加藤家改易の後、豊前小倉(江戸時代、現在の福岡県は豊前筑前、筑後の3つの国があり、廃藩置県の後、小倉県・福岡県・久留米県等になりました。その後、合併が繰り返されて今の福岡県になりました)から初代の肥後藩主となったのが細川忠利です。肥後細川家は11代、約240年にわたり熊本を統治しました。清正公に隠れて地味な細川家の偉業にふれるには、熊本城をはさんで、鬼門と裏鬼門の位置にある二つの菩提寺北岡自然公園(妙解寺跡)と立田自然公園(泰勝寺跡)を中心にするのがお勧めです。寺は明治2年の神仏分離により廃寺となりました。●北岡自然公園と立田自然公園の二ヶ所の移動は車(タクシー)で約30分、公共交通機関で約1時間は必要です。

細川忠利、熊本城入城逸話

1632(寛永9)年、肥後の国に入国するにあたり、加藤家に礼をつくす為、行列の先頭に清正公の位牌を掲げて、入国したといわれています。熊本城の大手門では深々と頭を下げて入門、天守閣から清正公の眠る本妙寺に「あなたの城地をお預りします」と頭をさげたそうです。清正公に畏敬の念を込め「せいしよこさん、と呼び親しんでいた領民の気持を汲んだと思われます。忠利の人柄も推し量ることが出来、剣豪宮本武蔵が忠利の知遇で肥後に入国したのも納得がいきます。

加藤家改易後の肥後藩主

●「細川家」コース【1/2】

[新幹線] ↑新玉名・新大阪方面
[JR在来線] ↑玉名・荒尾方面

細川家

古くからの武家。鎌倉時代の細川義季(現在の愛知県岡崎市に住んでいた)を祖とする。室町幕府では管領(かんれい)の重職を勤める。細川藤孝は細川家に養子として入り、その長男が忠興である。忠興は明智光秀の娘・玉(ガラシャ)と結婚。関ヶ原の戦いで東軍に付き小倉藩主に任ぜられる。忠興の三男忠利が1620(元和元)年に家督を相続し、小倉城に入る。1632(寛永9)年加藤家改易後、肥後の初代城主となりました。

細川家の菩提寺廻りをお勧めします。詳細の①北岡自然公園(妙解寺跡)と②立田自然公園(泰勝寺跡)は【44/52】に示します。



記号説明

- ⛥ 大病院
- ⛩ 神社
- (大) 文 大学
- 文 専・高・中・小

[新幹線] ↓新八代・新水俣方面
[JR在来線] ↓宇土・八代方面

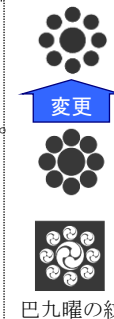
他の観光も合わせて見て廻りたい方にご紹介

- (A) ◎城下町を実感！
「横手」界限探索コース
- (B) ◎文教の都を実感！
「五高記念館」熊本大学周辺コース
- (C) ◎水の潤いを実感する街！
快適生活空間「水前寺」界限コース

120分	ページ[13/52]
120分	ページ[29/52]
120分	ページ[26/52]

！細川家「九曜の紋」変更事件！

五代藩主の細川宗孝は1747(延享4)年8月15日に江戸城内で旗本の板倉勝該に人違いで切りつけられ翌日死亡。32歳。原因は勝該が本家の板倉勝清に恨みを抱き、殺害しようとしたものの薄暗い城中で細川家の「九曜の紋」を板倉の「巴九曜の紋」と間違え殺害したものです。これを機に周囲の●を小さくし離れ紋としたのが「細川九曜の紋」です。



肥後藩細川家と菩提寺

菩提寺	
細川藤孝	泰勝寺跡
↓	
細川忠興	泰勝寺跡
↓	
初代 細川忠利	妙解寺跡
↓	
二代 細川光尚	妙解寺跡
↓	
三代 細川綱利	妙解寺跡
↓	
四代 細川宣紀	妙解寺跡
↓	
五代 細川宗孝	妙解寺跡
↓	
六代 細川重賢	妙解寺跡
↓	
七代 細川治年	妙解寺跡
↓	
八代 細川斉茲	泰勝寺跡
↓	
九代 細川斉樹	泰勝寺跡
↓	
十代 細川斉護	妙解寺跡
↓	
十一代 細川韶邦	泰勝寺跡
↓	
十二代 細川護久	泰勝寺跡 (明治3年熊本藩知事)

①北岡自然公園（妙解寺跡）

熊本駅(新幹線口)から北岡自然公園(入口)までJR線沿いに歩いて約9分

細川家の菩提寺である妙解寺跡です。肥後の細川家初代藩主忠利と以後の歴代藩主何人かの墓があります。現在、熊本市に寄附され、北岡自然公園として整備されています。森鷗外の「阿部一族」の主人公阿部弥一右衛門の墓もあります。

料金:高校生以上200円。中学生以下100円

電話:096-356-8005

休園日:年末年始



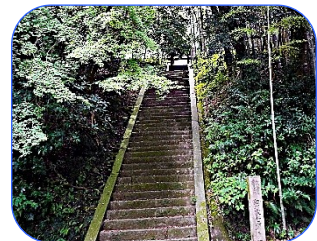
←北岡自然公園入口には300年以上経た橋があります。下を流れている川は橋の幅に比べ、非常に狭く、井芹川が改修される前の川幅が想像できます。↓



←庭園



←花岡山へ



←初代藩主忠利らの墓所はこの階段の上にあります。雨天時や凍結時は下からお参り下さい。

加藤家改易後の肥後藩主「細川家」コース●【2/2】



立田自然公園
(泰勝寺跡)

森林総合研究所
九州支所

小峯墓地

近くに「五高記念館」があります。熊本大学の前身である旧制第五高等学校の本館で、記念館として一般公開されています。夏目漱石、小泉八雲が教鞭をとったところ。また総理大臣を歴任した池田勇人、佐藤栄作氏など多くの著名な人達が青春を過ごし学んだ舎です。お薦めの記念館で、電話096-342-2050です。

熊本大学:黒髪キャンパス
(法学部・文学部・教育学部)

五高記念館

赤門

バス停
「立田自然公園入口」

桜山神社

白川

②立田自然公園（泰勝寺跡）

細川家の菩提寺である泰勝寺跡です。細川家初代藩主忠利夫妻、二代目忠興とガラシャ夫人の4つの廟、加藤家改易の後、肥後藩主となった3人の墓所があります。境内には宮本武蔵の供養塔もあります。

料金:高校生以上200円。小・中学生100円

電話:096-344-6753

休園日:年末年始

●園内は比較的平坦で歩きやすい。

●宮本武蔵の供養塔・墓は熊本市内に3ヶ所あり、泰勝寺跡の他、北区の「武蔵塚公園」、西区の「西の武蔵塚」です。



←忠利の祖父
藤孝の廟



←宮本武蔵の供養

●バス・「桜町バスターミナル」(約17分)か「通町筋」(約10分)から熊本大学方面バスに乗車。

「立田自然公園入口」で下車。 ※日中、バスは頻繁にあります(約5分～10分間隔)。

電鉄バス 光の森駅、武蔵ヶ丘、楠園地行きに乗車。

産交バス 光の森行きなどにご乗車下さい。

1 2 3 4 5 6
の詳細は【2/2】参照下さい。

宮本武蔵について

1584年兵庫県太子町(播磨国)に誕生した武蔵は1640年57歳の時、細川忠利の客人として熊本に招かれ、1645年62歳で亡くなるまで5年間で千葉城で過ごしました。熊本では「五輪の書」など今に通じる書を残しています。また臨終の7日前に病床で書いた「独行道」もあります。
※武蔵生誕の地は諸説あり、この他に岡山県美作市宮本などがあります。

◆車利用で見学の場合(参考移動時間)

熊本市中心部(市役所周辺)

↓ 約40分

1 霊巖洞(岩戸の里公園)

↓ 約35分

2 西の武蔵塚、島田美術館

↓ 約10分

3 坐禅石(谷尾崎梅林公園)

↓ 約30分

5 引導石、立田自然公園(泰勝寺跡)

↓ 約20分

6 武蔵塚公園

↓ 約30分
熊本市中心部(市役所周辺)

他の観光も合わせてみて廻りたい方

下記の資料にも記載しています。

2 ◎ 熊本の山手

「島崎」探索コース

ページ【31/52】【32/52】

4 ◎ ファッションの都を実感！

熊本城を眺める絶好の繁華街「通町」コース

ページ【18/52】【19/52】

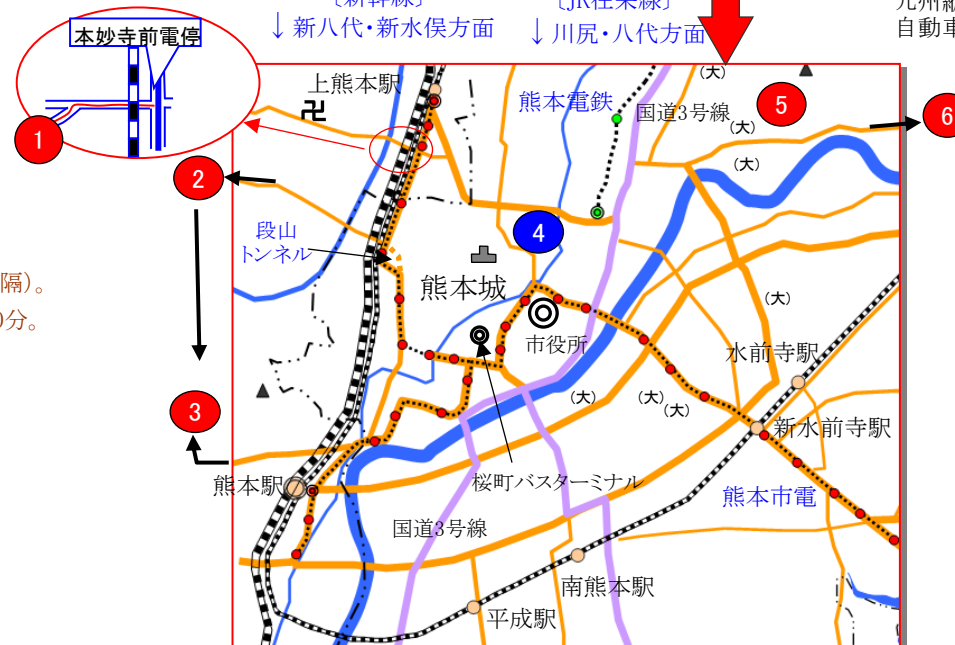
5 ◎ 文教の都を実感！

「五高記念館」熊本大学周辺コース

ページ【29/52】【30/52】

細川忠利肥後初代藩主の客人

●「宮本武蔵」コース【1/2】



観光用駐車場

P

1 霊巖洞(岩戸の里公園)

(熊本市西区)

●雲巖禅寺の裏にある洞窟。武蔵がこの洞窟で「五輪書」を書いた。洞窟の奥に観音像が安置されている。

★熊本市中心部から車で約40分

2 西の武蔵塚、島田美術館

(熊本市西区)

●熊本市内に武蔵塚が2ヶ所あり、その一つ。武蔵の肖像と遺品が展示されている島田美術館

★バスも日中は1時間に約3本有。

車なら中心部から約15分

3 坐禅石(谷尾崎梅林公園)

(熊本市西区)

●谷尾崎梅林公園内にある武蔵ゆかりの座禅石

★バスも日中は1時間に約1~2本有。

車なら中心部から約20分

4 武蔵使用の井戸

(熊本市中央区)

●武蔵が忠利の客人として熊本に来た時の屋敷跡にある井戸。

⑥2016年熊本地震で坂の上は資材置き場になっており、現在見物は出来ません。

5 引導石、立田自然公園(泰勝寺跡)

(熊本市中央区)

●武蔵のお棺を置いた謂れの引導石と武蔵の供養塔(泰勝寺跡内にあり)。

★バスは日中は頻繁にあります(約5分~10分間隔)。

バス停から徒歩約10分。車なら中心部から約10分。

6 武蔵塚公園

(熊本市北区)

●藩主の参勤交代を見守りたい武蔵の遺言にもとづき墓が立てられている。

★バスは日中1時間に約4~5本有。

車なら中心部から約30分

JR武蔵塚駅から徒歩約10分

1 霊巖洞(岩戸の里公園) (熊本市西区)

- 雲巖禅寺の裏にある洞窟。武蔵はこの洞窟で「五輪書」を執筆。洞窟の奥に観音像が安置されており岩戸観音と呼ばれています。この岩戸観音を平安時代の歌人・嵯峨(ひがき)も参拝しています。
- 雲巖禅寺をお参りし、霊巖洞方向に歩く途中、五百羅漢が安置されています。
- 雲巖禅寺 TEL 096-329-8854

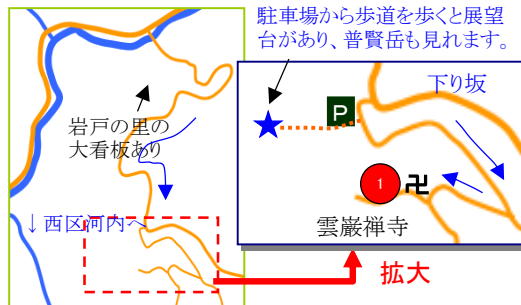
★バスもありますが、便数少なくバス停から上り坂を約20分歩く必要があります。車がお勧めです。熊本市中心部から車で約40分市電「本妙寺入口」交差点を本妙寺方面へ。カーブはありますが、道なりに約30分ほど走ると案内板があります。

★足が弱い方はお寺の駐車場(乗用車数台可)があります。但しお参りは石段あり徒歩です。

霊巖洞 (天然の岩窟です)



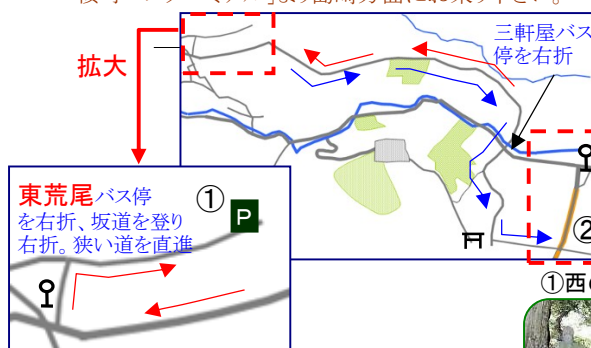
駐車場から歩道を歩くと展望台があり、普賢岳も見えます。



2 ①西の武蔵塚、②島田美術館 (熊本市西区)

①熊本市内に武蔵塚が2ヶ所あり、その一つ。

★バスも日中は1時間に約3本有。都市バス「桜町バスターミナル」より島崎方面にお乗り下さい。



★車なら市電「蔚山町」の電停から段山トンネルを抜けると島崎です。中心部から約15分

3 坐禅石 (谷尾崎梅林公園) (熊本市西区)

谷尾崎梅林公園内に武蔵ゆかりの坐禅石があります。畳二畳位の巨石です。武蔵は岩戸観音にしばしば参禅に行く途中、この地で屋外坐禅を組んだと伝承されています。

★バスは日中1時間に約1〜2本有。産交バス「桜町バスターミナル」より谷尾崎方面にお乗り下さい。★車なら中心部から約20分。



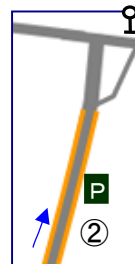
3 谷尾崎梅林公園



②島田美術館

(TEL 096-352-4597)
私立美術館です。古美術研究家の故島田真富氏が数多く収集された収蔵品が展示されており、宮本武蔵の遺品、肖像画も展示されています。

休館日：火曜と
第2・第4の水曜日



4 武蔵使用の井戸 (熊本市中央区)



細川忠利肥後初代藩主の客人 「宮本武蔵」コース ● 【2/2】

武蔵使用の井戸

Ⓢ2016年熊本地震で坂の上は資材置き場になっており、現在見物は出来ません。

1640年57歳の時、細川忠利の客人として招かれ、1645年62歳でなくなるまで千葉城で過ごしました。熊本では「五輪の書」など今にも通じる書を残しています。坂を登りつめた右側の茂みの中に井戸が現存しています。

5 ①引導石②立田自然公園(泰勝寺跡) (熊本市中央区)



②立田自然公園(泰勝寺跡)
(TEL: 096-344-6753)

細川家の菩提寺である泰勝寺跡です。細川家初代藤孝夫妻、二代目忠興とガラシャ夫人、加藤家改易の後、肥後藩主となった3人の墓所もあり、境内には宮本武蔵の供養塔もあります。
休園日：12月29日・30日・31日

①小峯墓地への道の入口付近の大きな石は引導石と呼ばれています。この謂れは、武蔵が1645年6月13日(旧暦5月19日)に千葉城の屋敷で亡くなった後、お棺を弓削の地に埋葬の為、向う途中、細川家の菩提寺である泰勝寺の参道にある石に置かれたそうです。和尚が成仏する様に引導を渡すと雷鳴が響いたことから呼ばれています。

★車の場合 引導石に駐車場はありません。

立田自然公園(泰勝寺跡)に駐車、徒歩約3分。

★バスは日中1時間に約4〜5本有。「桜町バスターミナル」より乗車。約17分。

◎電鉄バス または ◎産交バス 熊本大学方面にお乗り下さい。

6 武蔵塚公園 (熊本市北区)

藩主の参勤交代を見守りたい武蔵の遺言に基きこの地に墓が立てられました。尚、甲冑を帶し六具に身を固め立見の姿で葬られたと伝えられており、命日5月19日(旧暦)の直近に宮本武蔵顕彰祭が行われています。

★バスは日中1時間に約4〜5本有。約30分。

産交バス「桜町バスターミナル」より

武蔵塚方面にお乗り下さい。

武蔵塚公園下車。徒歩約2分。

★車なら中心部から約30分。

★JR武蔵塚駅から徒歩約10分。

